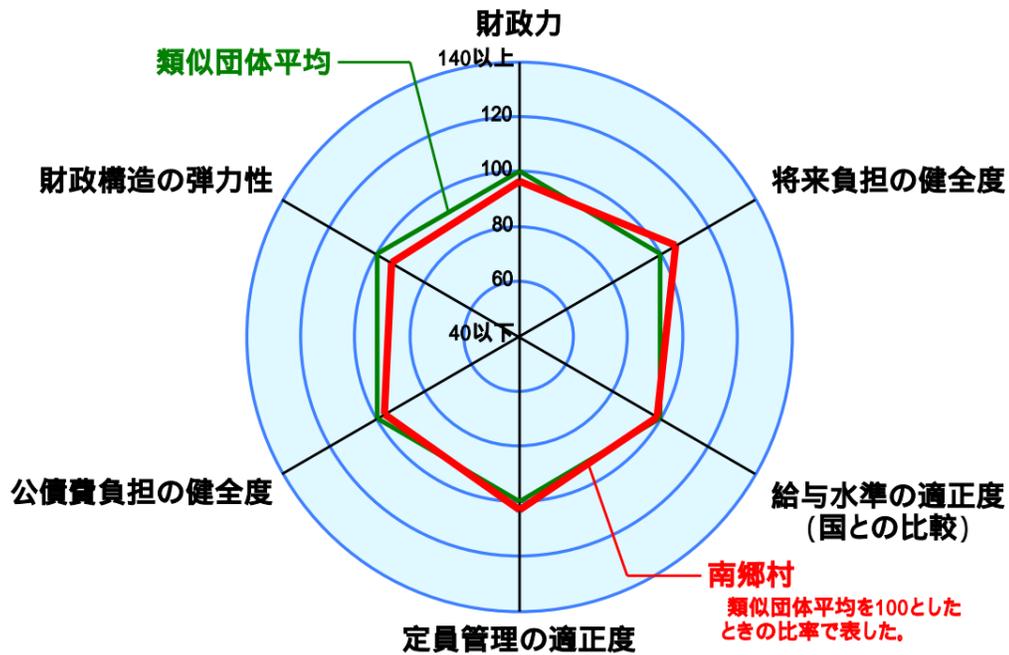
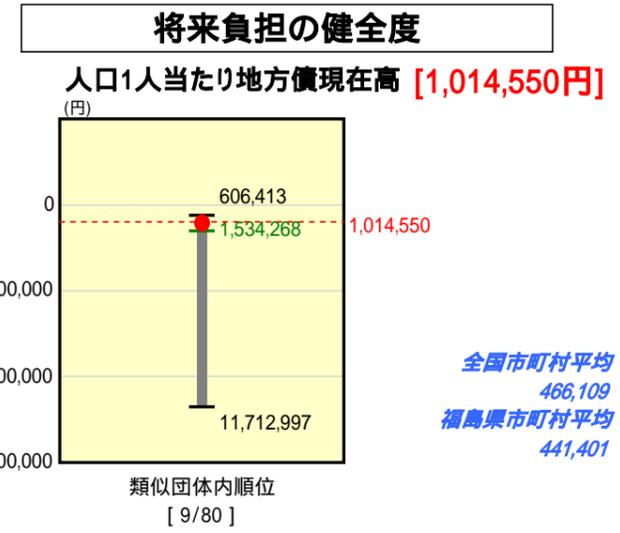
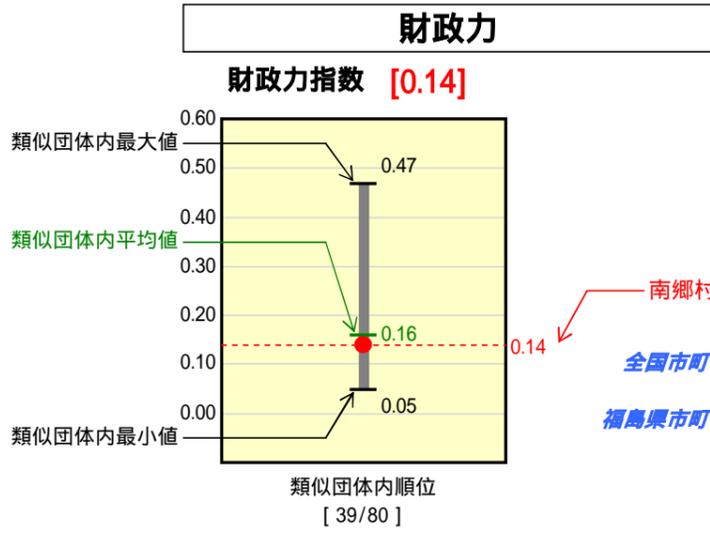


# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

## 福島県 南郷村

人口	3,004人(H17.3.31現在)
面積	119.50 km <sup>2</sup>
歳入総額	2,627,388千円
歳出総額	2,542,252千円
実質収支	76,495千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

- < 財政力指数 >  
類似団体平均を下回る0.14である。経常経費が増える一方で自主財源が乏しい本村は国の補助金や交付税に頼る財政運営を行わざるをえない状況となっている。
- < 経常収支比率 >  
平成7年度から平成10年度にかけての普通建設事業(交流促進センター物産館建設や歳時記の郷会津活性化施設整備事業、地域保健福祉センター整備事業)等による地方債償還額の増加、また下水道事業会計や介護保険事業会計への繰出金の増加等により、経常収支比率が悪化し、類似団体平均を上回っている。合併後は大規模事業の計画の見直しを行うなど数値の改善に努めたい。
- < 起債制限比率 >  
普通建設事業費に係る起債の償還等に併い上昇し、類似団体平均をやや上回っている。大規模事業が終了したことから今後5年間で類似団体の水準である10.8%まで低下させる。
- < 人口1人当たりの地方債現在高 >  
近年大規模事業が少なかったため、現在のところ類似団体平均を下回っているが、今後も地方債の発行の抑制(10%縮減)等により、類似団体平均を上回ることがないよう努める。
- < ラスバイレス指数 >  
給与体系の見直しが遅れ、類似団体平均を上回っている。合併後は地域民間企業の平均給与の状況を踏まえ、給与の適正化に努める。
- < 人口1,000人当たり職員数 >  
類似団体平均を下回っている。町村合併後は、合併後に策定される定員適正化計画に基づき退職者の不補充等により、平成18年度から27年度までに職員数を300人から170人へ削減する予定である。

